

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震について

平成 20 年 06 月 14 日（20：10）現在
官邸対策室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成 20 年 06 月 14 日 08 時 43 分頃
- (2) 震央地名 岩手県内陸南部（北緯 39 度 01.7 分、東経 140 度 52.8 分）
- (3) 震源の深さ 8 km
- (4) 規模 マグニチュード 7.2（推定）
- (5) 各地の震度（震度 5 強以上）
- 震度 6 強 岩手県奥州市衣川区
宮城県栗原市一迫
- 震度 6 弱 岩手県奥州市胆沢区
宮城県栗原市築館・高清水・金成等、大崎市古川三日町・鳴子等
- 震度 5 強 岩手県北上市二子町、一関市山目、平泉町平泉、奥州市水沢区・江刺区・前沢区
宮城県涌谷町新町、栗原市若柳、登米市南方町、宮城美里町木間塚、大崎市松山、名取市増田、仙台市仙台宮城野区苦竹等、利府町利府
秋田県湯沢市川連町、東成瀬村椿川・田子内
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（19:00 現在）
震度 1 以上の余震 180 回
最大余震 09:20、マグニチュード 5.6
- (8) 東北地方の気象の予想
今夜（14 日）は、宮城県は晴れで夜遅くにくもりの見込み、秋田県、岩手県はくもりで、内陸で夜遅くまで雨の降るところがある見込み。
明日（15 日）、宮城県は概ね晴れ、岩手県は晴れで朝夕くもり、秋田県はくもり、風は全般に弱い見込み。
明後日（16 日）、岩手県、秋田県はくもり一時雨。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（死者 6 名）
岩手県 死者 2 名（地震で飛び出し トラック に轢かれた、ダムの落石）、重傷 6 名、軽傷 13 名（警察庁 19:00）
宮城県 死者 3 名（湯浜温泉の土砂崩れによる車両転落 1、栗原市花山本沢水無地区の作業員 2）、重傷 19 名、軽傷 92 名（警察庁 19:00）
秋田県 重傷 3 名、軽傷 10 名（警察庁 19:00）

山形県 軽傷 1名（警察庁 19:00）

福島県 死者 1名（土砂崩落）（警察庁 19:00）

※このほか

- ・宮城県駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、7名（宿泊客2名、従業員3名、経営者の家族2名）が生き埋め→宮城県警レンジャー5名が現場で捜索活動中。（警察庁 14:59）。自衛隊が救助活動中（防衛省 17:56）。
- ・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員1名行方不明。生き埋めの可能性大→日没のため、本日の活動終了（消防庁 20:15）
- ・宮城県栗原市花山で土砂災害で車1台埋もれている（消防庁 11:04）
→女性1名救出済（軽傷）、男性1名救助済（けが無し）。（消防庁 17:00）
- ・仙台空港でバスの乗客がけが（重傷5名、軽傷18名）（消防庁 11:30）
- ・岩手県R397においてマイクロバス1台（20名乗り）が斜面を30mほど落下、重傷6名、軽傷4名を自衛隊ヘリで搬送。救助完了（防衛省 16:15）。
- ・湯浜温泉（湯浜から南2km）において、車3台が流出、谷底に転落→男女2名救出、1名死亡確認（再掲）、残る1台は水位上昇のため作業打ち切り（警察庁 19:00）

（孤立情報）

- ・岩手県一関市祭崎（マツルベ）付近で孤立状態（消防庁 10:55）→付近の健康の森に避難した住民をヘリ（自衛隊、海保、消防）で98名救出完了（消防庁 19:33）
- ・祭崎（マツルベ）地区付近の市野原地区内の公民館に66名が孤立→30名救出済（消防庁 18:45）
- ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客100名程度孤立（消防庁 11:50）
→自力で秋田県側へ避難した（消防庁 17:15）
- ・岩手県一関市若井原地区で36名孤立→現在ヘリにて救出作業中（消防庁 18:45）
- ・R342号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭崎（マツルベ）大橋の損傷により19名孤立、→搬送完了（警察庁 18:15）
- ・祭崎大橋の東側で38名が集結→ヘリ救出完了（警察庁 19:35）
- ・R342号烏帽子山付近にて孤立→45名救出完了（消防庁 18:45）
- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で60名孤立をヘリが発見、隊員1名を現地へおろして花巻空港へ帰投。給油後、再度現場に向かう（消防庁 11:40）
→自衛隊ヘリ1機により救助中（防衛省 15:45）
- ・花山湖北10kmで3名が救助要請→自衛隊ヘリで救出完了（防衛省 18:20）
- ・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約100名が孤立→ヘリ4機にて対応・81名救助、本日の救助活動は終了（海上保安庁 20:20）
- ・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で約100名が孤立→自衛隊ヘリ5機で搬送中（防衛省 19:00）

（避難情報）

- ・岩手県 一関市厳美地区内の施設「健康の森」、「本寺小学校体育館」に78名避難
- ・宮城県 栗駒地区50名、築館地区24名、花山地区100名が避難

（消防庁 17:05）

(2) 建築物被害

- ・岩手県 半壊 1戸 (警察庁 14:40)
- ・宮城県 一部破損 5戸 (消防庁 13:40)
- ・山形県 一部損壊 2戸 (警察庁 14:40)
- ・火災 宮城県仙台市 1件
　　岩手県金ヶ崎町 2件 (消防庁 09:45)

(3) 交通遮断状況

(鉄道)

- ・東北新幹線(仙台～八戸)・秋田新幹線(盛岡～秋田)運転見合わせ (国土交通省 13:00)
- ・仙台～古川、一関～水沢江刺間で、はやて・こまち1号、やまびこ46号など新幹線
計3本が停止→18:07 旅客の救済完了
　　(国土交通省 20:10)

(道路)

- ・岩手県 道路損壊 6ヶ所、狭量損壊 2ヶ所 (警察庁 14:40)
- ・秋田県 道路損壊 1ヶ所 (警察庁 14:40)
- ・岩手県R342で崩落多数、崩落箇所の間に車(約19名)孤立→無事確認 (警察庁 12:30)
- ・落橋 (国道342号の「まつるべ大橋」、岩手県一関市巣美町)

(海上航路)

- ・航路標識の被害状況なし (海上保安庁 14:40)

(4) ライフライン等の状況

- ・原発：女川1～3号機、東通、福島第一1～6号機、福島第二1～4号機 現在までの所異常が確認されていない (経済産業省 13:00)
- ・福島第二4号機使用済燃料プールで合計4リットルの水の飛散。プラント共用のサイトバン力建屋で合計15リットルの水の飛散あり。サイトバン力建屋2階のピットの底部内に水溜まり約1リットル。2号機原子炉建屋4階東側通路空調ダクトの下に水溜まり約9リットル。なお、両施設からの外部への漏洩は確認されず。(経済産業省 16:00)
- ・停電：1402戸 (原子力安全・保安院 17:00)
　　岩手県奥州市 28戸
　　宮城県栗原市 1374戸
- ・岩手県で水道管破裂 1箇所 (警察庁 09:30)
- ・断水：(厚生労働省 18:00)
　　岩手県 741戸
　　宮城県 2809戸
- ・宮城県内で一部電話不通 (95加入電話)、岩手県・宮城県方面の通信規制解除 (総務省 17:00)
- ・宮城県内で携帯電話基地局 (2社4基地局) が停波中 (総務省 19:00)

3. 政府の主な対応

- ・ 08：50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 08：50 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること

(緊急参集チーム確認事項)

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一緒にとなって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。

- ・ 11：38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発

13：35 現地着

派遣場所 岩手県一関市、宮城県栗原市

- ・ 15：20 総理指示

現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだいる可能性がある。

現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。

- ・ 16：30 政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）

・ 政府調査団、団長以下19名は現地に滞在。他の要員は18：34現地から市ヶ谷に向けて離陸、20：30市ヶ谷着陸

- ・ 一関市、栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省 19:00）

- ・ 18：50 総理指示

① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。

② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。

- ・ 20：00 災害対策関係省庁連絡会議 開催

4. 各省庁の活動状況

(対応勢力) 警察庁 270人、ヘリ 6機 被災地外からの出動 (18:50)

消防庁 786人、ヘリ13機 被災地外からの出動 (18:30)

防衛省 のべ約360人、車両約90両、航空機23機 (17:30)

海上保安庁 巡視船25隻 (395人)、航空機11機 (55人)、特殊救難隊1隊 (5人) (18:40)

(情報収集活動等)

- ・陸自ヘリ5機、偵察隊、海自固定翼機2機、ヘリ2機、空自固定翼機3機で偵察活動を実施中（防衛省10:40）
- ・海保 船艇25隻、航空機11機による沿岸部被害状況調査の結果、沿岸部に被害を認めず（海上保安庁14:20）

(広域応援等)

(1) 緊急消防援助隊（消防庁）

緊急消防援助隊 陸上部隊184部隊、航空部隊13機出動 総計786人
(消防庁18:30)

(2) 広域緊急援助隊（警察庁）

- ・広域緊急援助隊（福島県警、埼玉県警、警視庁、山形県警、青森県警、新潟県警、茨城県警、栃木県警、群馬県警、千葉県警、神奈川県警、山梨県警、長野県警、静岡県警の計270名が出発）が岩手県、宮城県に向け出発（警察庁17:30）
- ・警察ヘリ6機（警視庁3機、青森県警1機、千葉県警1機、神奈川県警1機）
- ・警察機動通信隊を派遣（福島、青森、茨城、関東管区）

(3) 災害派遣（防衛省）

- ・10:50 岩手県知事より第9特科連隊長に災害派遣要請
- ・11:00 宮城県知事より第6師団長に災害派遣要請

(活動中の部隊)

陸自 2個ヘリ部隊、2個偵察隊、2個連隊、1個大隊、1個施設団
海自 3個航空群、1個教育航空隊
空自 2個航空団、2個救難隊

(4) 特殊救難隊等（海上保安庁15:25）

- ・特殊救難隊1隊、機動防除隊1隊派遣
(ヘリ計4機派遣)

(5) DMAT（厚生労働省19:00）

- ・DMAT（災害派遣医療チーム）36チームを派遣、現地にて27チームが活動中
- ・千葉県ドクターへリが被災地にて活動中
- ・福島県ドクターへリが被災地にて活動中

(6) 緊急災害対策派遣隊（T E C – F O R C E）（国土交通省）

- ・14:10 本省から現地に向け19名出発
- ・応急対策班（無人化施行機械）派遣済み（国土交通省14:55）
その他8名はヘリにより出発済み

5. その他

08:43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置（消防庁10:20）